



秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画庁内推進会議の 進捗状況について

1 設置目的

第2次秋田市エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）行動計画（以下「行動計画」という。）の基本理念、基本目標の達成に向けて、関係部局間の課題共有、連絡調整等による円滑な計画推進を図るため「秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画庁内推進会議（以下「推進会議」という。）」を設置した。

2 所管事務

- (1) 行動計画の推進を図るために必要な庁内の課題共有、情報交換に関すること。
- (2) 行動計画の推進のための新たな施策の検討や既存事業の見直し等に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

3 構成員

会 長 (1)	福祉保健部次長兼連携推進官（健康長寿担当）
委 員 (18)	防災安全対策課長、企画調整課長、スポーツ振興課長、生活総務課長、中央市民サービスセンター副所長、障がい福祉課長、地域福祉推進室長、長寿福祉課長、保健予防課長、子ども総務課長、商工貿易振興課長、企業立地雇用課長、農業農村振興課長、道路維持課ゆき対策担当課長、都市計画課長、交通政策課長、学校教育課長、生涯学習室長

4 会議の進め方

上記3の構成員に掲げる課所室長による推進会議のほか、関係課所室の実務担当者（担当リーダー等）による「作業部会」を開催。積極的な意見発信と情報交換等を行い、具体的な提案による新規事業の検討や既存事業の見直し等を図る。

5 今年度における推進会議および作業部会の開催状況

(1) 第1回推進会議（平成29年8月8日開催）

庁内が連携して取り組むべき課題を「**担い手不足・人材不足の解消**」と設定し、3回にわたる作業部会において、具体的な話し合いを行っていくこととした。

(2) 第1回作業部会（平成29年8月31日開）

参加者を4班（1班4～5名）に分け、課題として設定した「担い手不足・人材不足の解消」について、各課の「現状」、「取組状況」、「他課と連携できる又はしたい取組」等を整理するため、グループワークを実施。課題に関する各課の現状等について、情報を共有した。



(3) 第2回作業部会（平成29年11月21日開催）

第1回作業部会のグループワークにおいて出された「他課と連携できる又は連携したい取組」を各班それぞれ2つに絞り込み、具体的な取組内容をアイデアシートに整理した上で、発表を行った。



そして、各班のアイデアに対し、① 新規性がある ② 効果が高そう などと
思われる連携案に参加者全員で投票を行った。

(4) 第3回作業部会（平成30年1月30日開催）

第2回作業部会で発表した連携案をさらに深掘りし、シートを作成。より具体的な事業目的や、実現までの課題、見込む効果などを洗い出し、各班が発表を行った。

(5) 第2回推進会議（平成30年3月20日開催）

第3回作業部会で出された連携案8つについて報告。各課からの意見を聴取しながら、今後も実現に向けた協議を継続していく予定。

※本資料作成時、当会議はまだ開催されていないため、詳細は推進委員会当日にご報告します。